招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和２年２月21日

国立大学法人新潟大学長　牛木　辰男

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　15

○第４号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量　ホールボディカウンタ　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　令和01年度９月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　ホールボディカウンタは、全身用カウンタ及びデータ処理装置から構成されること。

B　臥位で全身の測定を行えるシステムであること。

C　測定時間が短く多人数の測定を行うことができること。

D　Ｇｅ半導体検出器の増設が可能な構造であること。

E　測定時の操作性に優れていること。

F　優れた保守体制が整備されていること。

G　校正が容易なファントムを備えていること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和２年４月７日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒951―8520 新潟市中央区旭町通１番町754番地　新潟大学医歯学総合病院管理運営課契約係　野水　忠宏　電話025―227―0970

3　説明書の交付本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和２年２月21日から令和２年４月７日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　令和２年３月４日15時00分

⑵　開催場所　新潟大学医歯学総合病院西診療棟３階　第１会議室

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Whole body counter 1 Set

⑶　Type of the procurement : Purchase

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　The whole body counter shall consist of a whole body measurement instrument and data processing device.

B　It must be able to measure whole body in supine position.

C　The measurement time is short, and the measurement can be performed by many people.

D　The device must have a structure that allows the addition of Ge semiconductor detectors.

E　Excellent operability during measurement.

F　Excellent maintenance system.

G　Have a phantom that is easy to calibrate.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　7 April, 2020

⑹　Contact point for the notice : Tadahiro Nomizu, Procurement Section, Niigata University Medical and Dental Hospital, 754 Asahimachidori 1-bancho Chuo-ku Niigata-shi 951―8520 Japan, TEL 025―227―0970

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和２年２月21日

国立大学法人浜松医科大学

理事　田中　宏和

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　22

○第４号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　ＰＢＬ教育支援ビジュアルコミュニケーションシステム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　令和２年度３月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　本システムは双方向ライブ映像操作系設備、双方向ライブ音声操作系設備および映像・音声アーカイブおよび再生設備で構成される。

B　各チュートリアル室およびモニター室に配置される書き込みツールは電子黒板を用い、モニター室に３台、チュートリアル室14室に１台ずつ計14台、202号室に３台、そして国際ＰＢＬ用に１台、計21台を予定している。

C　各チュートリアル室の電子黒板に、モニター室から書き込みができること。また各チュートリアル室の書き込みがモニター室で表示されること。

D　各チュートリアル室で作成された成果物をプリントアウトできること。

E　各チュートリアル室で作成された成果物をスナップショットなどの方法で、電子ファイルとして持ち帰ることができること。

F　各チュートリアル室で電子黒板上に書き込まれた成果物をカメラ設備で録画できること。

G　学生が用意した資料を電子黒板上に表示できること。

H　成果物を電子ファイルとして保存することができ、後日再開できる仕組みになっていること。

I　任意のチュートリアル室の電子黒板上の成果物を、各チュートリアル室およびモニター室で供覧できること。

J　モニター室から電子ファイルを各チュートリアル室の電子黒板にアップロードし、その内容が録画できること。

K　電子黒板への書き込みは、ホワイトボードと遜色ない書き込み反応であること。

L　電子黒板は75インチ程度であること。

M　電子黒板は架台に固定されていること。また移動できる車輪を有すること。

N　電子黒板は静電容量方式またはそれと同等の性能を有していること。

O　モニター室から各チュートリアル室をモニターするシステムは、簡単に操作できるユーザーインターフェースであること。

P　各チュートリアル室の電子黒板の文字が映像で認識できること。

Q　各チュートリアル室の議論の様子を死角がなくモニターできること。

R　学生が用意する資料を映像から読むことができること。

S　モニター室と各教室と個別に通話ができること。

T　モニター室から各チュートリアル室に音声による指示が出せること。

U　任意のチュートリアル室の音声が他の全ての部屋と共有できること。

V　ハウリングや反響のないクリアな音声であること。

W　全チュートリアル室で録画されたデータは最低でも10年程度高画質で記録できること。

X　全チュートリアル室において24時間自動で録画でき、５年分高画質で記録できること。

Y　ＰＢＬまたは授業で記録された映像は外部メディアに長期保管できること。

Z　各チュートリアル室で作成された成果物は202号室で大きく投影できること。

AA　各チュートリアル室で作成された成果物は特別講義室で大きく投影できること。

AB　国際ＰＢＬを行うため電子黒板の１台はテレビ会議用のシステムを有していること。